

人工内耳手術を受けられた患者さんの 情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター耳鼻咽喉科では、「人工内耳手術時に実施する ESRT と術後の C レベル・M レベルとの関連に関する観察研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、人工内耳植込手術中の電気刺激に対するアブミ骨筋反射閾値（ESRT）が術後の人工内耳マッピングの数値とどのような関連を示すかを明らかにすることです。

この研究のため、2021年4月1日より2027年3月31日までに治療した方の ESRT の調査を行います。対象となるのは人工内耳植込術を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（ESRT、聴覚生理検査、人工内耳マッピング、難聴の原因等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。

今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

データを研究に利用することを患者さんもしくはは代理人の方が承諾されない場合は下記にご連絡下さい。何らかの理由で自分の意思を示せない方や未成年者の場合は、代諾者の方も患者さんと同様に拒否する権利を有します。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年5月 研究責任者 東京医療センター耳鼻咽喉科

梁 瑗真

連絡先 03-3411-0111(代表)